



## カクレウオは、どうしてナマコにかくれるの

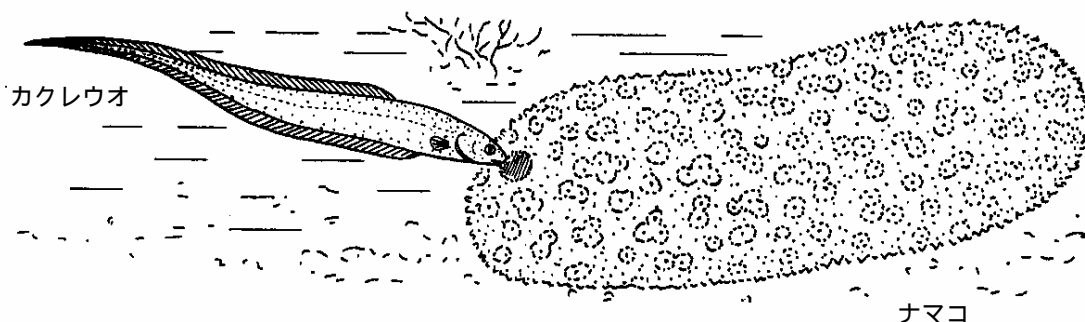
### ナマコの体内が、入りやすく便利なかくれ家だから

カクレウオは、体の長さが20センチメートルぐらいの、腹びれがなく、うろこも体の表面にはない魚です。こう門が、えらぶたのすぐ下のあたりにあり、背びれとしりびれが、おびれにつながっています。ナマコの腸の中が、かくれるのに便利だったので、そこで生活するようになったようです。

ナマコは、腸が体の長さの3倍もあるといわれるくらい長く、腸のまわりにえらがあります。そのため、いつも、こう門から、呼吸するための水を出したり入れたりしています。カクレウオは、このこう門が開いたときに、ナマコの体内に入り、明るい昼の間、じっとかくれていて、夜になると外に出てきてえさを探します。

### カクレウオは、ナマコには役に立っていない

カクレウオには便利なかくれ家ですが、ナマコにとっては、カクレウオは何の役にも立っていないようです。カクレウオの種類によっては、ナマコの内臓を食べるものもいるので、あまりありがたくないお客さんのようです。カクレウオは、ヒトデの腸に入ることもあります。相模湾や富山湾から南の方の海にいます。(監修・安部 義孝)



ナマコ

